

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 035	提案機関名 畜産技術センター
<b>要望問題名</b> 効率的な後継牛生産のための繁殖技術の開発	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 畜産技術センター普及指導課では、県内酪農家における後継牛確保を進めるために、交配プランニング等の支援を行っており、交配方法のひとつとして性選別精液の利用を推進している。性選別精液は通常精液に比べて人工授精後の受胎率が低いことが課題であるが、国内精液については利用マニュアルが公表されている。しかし、輸入精液については適切な利用方法に関する情報が少ない状況である。そこで、輸入精液の利用において、授精適期、発情同期化や排卵同期化等により受胎率向上を図るための方策について検討をお願いしたい。 また、遺伝的能力評価（ゲノミック評価）が開始され、これまでより信頼度の高い遺伝情報が利用可能となったことから、ゲノミック評価に基づく未経産牛を利用した効率的な改良の推進が期待される。そこで、未経産牛に対するOPU技術の利用とその後の繁殖性に対する影響の調査をお願いしたい。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	畜産技術センター	<b>担当部所</b>	企画研究課
<b>対応区分</b>	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合) 新技術(OPU)を用いた効率的な後継牛確保対策 (H27～28) 経膈採卵を利用した効率的な肉用繁殖牛生産技術の開発 (H28～32)			
<b>対応の内容等</b> 性選別精液を利用する場合の課題につきましては、他県の共同試験で「性選別精液に適した人工授精適期」についても検討しており、今後その結果がまとまり次第、情報を提供して頂く予定です。 また、OPU技術の利用につきましては、H27年度からの試験課題「新技術(OPU)を用いた効率的な後継牛確保対策」やH28年度からの試験課題「牛の未成熟卵子の体外成熟培養方法」にて取り組みデータを蓄積しているところです。今後未経産牛のOPUにつきましても、黒毛和種について検討中ですので、ホルスタインについても将来に向けて検討します。			
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
<b>備考</b>			